

できない理由を考えるよりできる方法を考えてみませんか？

埼玉県吹奏楽連盟が応援します！

## Q1 マーチング活動のメリットは

全員がレギュラーであることが1番のメリットです。一人一人に全く違った動きがあり、責任を持って取り組みます。誰か一人が欠けても線は線にならず、円は円になりません。

演奏面で楽器の上達度が低かったとしても、かけがえのない一人です。身体を動かすことから吹奏楽の時にはリーダーになりえなかったメンバーがリーダーシップを発揮する場面も見られます。また、マーチングを始めて姿勢がよくなった。呼吸がしっかりしてダイナミクスレンジが広がった。大きな声で挨拶ができるようになった。部の雰囲気明るくなったなどのお話を聞きます。トップバンドと呼ばれるバンドでマーチングの活動も並行して行なわれていることも納得できます。活動の幅が広がり、ステージドリルやパレードにも参加できます。

互いが互いのよさと存在を認め合いながら、バンドが本当に1つの仲間になっていくことが感じられます。これが何よりのメリットと考えます。

## Q2 やってみたいけど「指導法」がわかりません

吹奏楽部顧問の先生は、「音楽」をつくることができます。「動き」の指導法については、2月11日に行なわれるマーチング講習会で学ぶことができます。さらに、マーチングをはじめようという団体には埼玉県吹奏楽連盟が無料で指導者を派遣します。事務局にお問い合わせください。顧問の先生によっては音楽は作るが「動き」は外部指導者にお願いするという方法で活動している団体もあるようです。

## Q3 やってみたいけど「マーチングに使う楽器」がありません

基本的に吹奏楽の楽器編成以外で使う楽器は、マーチング用の打楽器（S.D、B.D）スーザフォンやマーチングチューバ等の低音楽器です。埼玉県吹奏楽連盟では、平成30年度マーチング活動普及支援事業としてこれらの楽器を2団体分購入し、新たにマーチングを始める学校に月1万円でレンタルをしました。この2団体は本年度マーチングコンテストに参加しました。（平成31年度事業継続については検討中）

## Q4 やってみたいけど「場所」がありません

体育館全面や校庭全面を使ってやるイメージがありますが、広い練習場所がない中で練習する方法もあるのです。例えば4人一組で5M×5Mの四角があれば動きをつくることができます。それを組み合わせてひとつの形にするという方法です。やる気になればいくらかでも方法はあるものです。

埼玉県吹奏楽連盟マーチング部会